

2023年 4月 24日

研究成果報告書

研究課題	令和4年度教育機関と連携した地域再エネ導入促進及び地域中核人材育成研修業務委託	
研究者	氏名	山本匡毅
	所属学部、学科、職名	地域政策学部地域政策学科教授
研究成果	<p>当事業では、テーマを「条件不利地域における自然資源を生かした地域再エネの利活用」に設定し、フィールドワーク先として山形県真室川町を選定した。具体的な視察先として、真室川町歴史民俗資料館、真室川町役場、株式会社庄司製材所（旧大滝小学校工場、旧及位中学校工場）、中央公民館、まざれや(旧差首鍋小学校)、一般社団法人雪と暮らし舎、野々村ため池を選定し、調査した。</p> <p>調査の結果、真室川町が持つ強みとして、真室川町は森林資源が豊富で林業が盛んであり、町内には木質バイオマスに取り組んでいる製材所が立地していた。そのため、木質バイオマスエネルギー生産のポテンシャルを有していることが明らかになった。</p> <p>調査から明らかになった課題として、役場が持つ専門知識・スペシャリスト職員が多くない点、町と大学との連携の不足、産業と金融機関の連携が挙げられた。</p> <p>当該成果は、報告書を作成するとともに、2023年3月17日（金）にオンラインで成果報告会があり、発表を行った。</p>	
今後の計画、課題等	<p>コロナ禍の中でのフィールドワークであり、困難が伴ったが、町役場、真室川町の企業等の協力により、実施が可能になった。今後もゼミとして、カーボンニュートラルを目的とした調査を実施していきたい。</p>	